



# 平成30年度 生活困窮者の自立支援

生活困窮者自立支援制度開始から3年半がたち、平成30年10月1日に改正生活困窮者自立支援法が施行されました。

本研修では、法改正の背景と内容を確認し、現状と課題について学ぶとともに、さまざまな支援事業の事例から、生活困窮者を支える体制整備の進め方や効果的な事業の実施方法などを学び、地域の特性や事情を踏まえた具体的な支援のあり方を考えます。

## 研修の ポイント

- 生活困窮者自立支援法の概要と改正内容、現状と課題について学ぶ。
- 対象者の特性に合わせた支援のひとつとして、発達障害児・者の支援のあり方について学ぶ。
- 支援事業の事例紹介を通して、相談から自立に至るまでの支援を切れ目なく包括的に提供するための施策や実施について考える。

## 開催要領

日程 平成31年1月21日(月)～1月23日(水) (3日間)

場所 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象 ● 生活困窮者支援に関わる都道府県・市区町村の職員  
● 社会福祉協議会の職員及び行政と協働実績のあるNPO法人団体等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。  
※議員の方も参加可能ですが、市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますので留意ください。  
また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、お申込みは必ず議会事務局を通じてお願いします。

募集人数 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費 10,500円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限 平成30年12月7日(金)まで

申込方法 JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。  
[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。  
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定 受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

## ● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906  
[e-mail] [kenshu@jiam.jp](mailto:kenshu@jiam.jp) [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

平成31年

1月  
21日(月)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
- 12:30～ 開講・オリエンテーション
- 13:00～14:10 **講義** **生活困窮者自立支援法改正の背景と内容**  
厚生労働省 社会・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室長 野崎 伸一 氏  
生活困窮者自立支援法改正にあたっての背景と改正内容についてご解説いただきます。
- 14:25～15:35 **講義** **釧路市の取り組みを通じた生活困窮者自立支援法の現状と課題**  
一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会 副代表 榎部 武俊 氏  
生活困窮者自立支援法に生かされた釧路市の自立支援プログラム「釧路モデル」を通じて考える、同法の現状と課題についてお話しいただきます。
- 15:50～17:00 **講義・事例紹介** **発達障害児・者の特性と支援のあり方**  
滋賀県立精神保健福祉センター 所長 辻本 哲士 氏  
発達障害児・者の特性を理解し、学習や就労等の支援をどのように展開していくのかについてご講義いただきます。
- 17:30～ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成31年

1月  
22日(火)

- 9:25～10:35 **事例紹介** **アウトリーチ・多機関連携**  
(事例紹介 60分)  
(質疑応答 10分)  
豊中市社会福祉協議会福祉推進室長 勝部 麗子 氏  
多機関と連携した地域での見守り体制、支援が必要な世帯に支援を届けるためのアウトリーチの方法など、豊中市社会福祉協議会での取り組みをご紹介します。
- 10:50～12:00 **事例紹介** **就労準備支援事業**  
(事例紹介 60分)  
(質疑応答 10分)  
大阪府茨木市健康福祉部相談支援課 課長代理(兼)相談一係長 九鬼 信行 氏  
制度開始に先立ち平成26年度からスタートした「あすてっぴ茨木」。庁内職場実習の導入など、就労準備支援事業の取り組みをご紹介します。
- 13:00～14:10 **事例紹介** **学習支援事業**  
(事例紹介 60分)  
(質疑応答 10分)  
千葉県八千代市健康福祉部福祉総合相談室 主任 長谷川 淳一 氏  
地域の大学とも協力し、学習面だけではなく、子どもの社会性にも配慮しながら小学4年生から高校生までを対象として実施している学習支援事業をご紹介します。
- 14:25～15:35 **事例紹介** **家計改善支援事業**  
(事例紹介 60分)  
(質疑応答 10分)  
生活協同組合連合会 グリーンコープ連合・共同体 常務理事 生活再生事業推進室長 行岡 みち子 氏  
公共料金滞納や借金返済の相談を福祉制度利用につなぐなど、家計を立て直すための支援の内容や相談員のスキルアップに関する取り組みを中心にお話しいただきます。
- 15:50～17:00 **事例紹介** **中間的就労の場の創出**  
(事例紹介 60分)  
(質疑応答 10分)  
社会福祉法人 一麦会(麦の郷) 経営委員 柏木 克之 氏  
障害者支援のノウハウや経験を活かした就労訓練事業について、理念・目的、具体的な活動内容やこれまでの成果をご紹介します。

平成31年

1月  
23日(水)

- 9:25～12:00 **演習・ふりかえり**  
**生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために 1**
- 13:00～15:00 **演習・ふりかえり**  
**生活困窮者自立支援制度における支援事業を効果的に実施するために 2**  
九州大学大学院 統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏  
研修全体をふりかえるとともに、受講者同士で各自治体の取り組みや課題を共有し合い、さまざまな主体との連携などによる効果的な事業の実施方法について考えます。
- 15:00～15:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**